

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月12日

上場会社名 株式会社キムラ 上場取引所 東
 コード番号 7461 URL <https://www.kimuranet.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 勇介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 野村 真也 TEL 011-721-4311
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	27,724	2.7	1,685	△9.1	1,778	△10.1	942	△9.5
2024年3月期第3四半期	27,006	△2.5	1,854	△13.3	1,979	△12.1	1,041	△14.2

（注）包括利益 2025年3月期第3四半期 1,066百万円（△21.1％） 2024年3月期第3四半期 1,350百万円（△16.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	63.51	—
2024年3月期第3四半期	70.19	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	32,137	18,808	49.7	1,077.28
2024年3月期	26,909	17,985	57.0	1,033.40

（参考）自己資本 2025年3月期第3四半期 15,979百万円 2024年3月期 15,328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期（予想）				14.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	3.0	1,850	2.0	2,030	2.4	1,090	5.7	73.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	15,180,000株	2024年3月期	15,180,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	347,321株	2024年3月期	347,321株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	14,832,679株	2024年3月期3Q	14,832,691株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっては、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、物価上昇の中での実質賃金底入れやインバウンド需要の好調により堅調に推移した一方で、ウクライナ侵攻の長期化、不安定な中東情勢、中国経済の減速などにより、資源価格・エネルギー価格の高騰や世界経済へのマイナス影響など、依然として景気の先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、職人不足や原材料価格の高騰、円安による仕入れコストの上昇もあり、住宅価格が以前より高額となっております。また、人口減少の影響から新設住宅着工戸数が弱含みで推移しており、先行きは極めて不透明で厳しい経営環境であると考えております。

このような状況のもと、当社グループでは、卸売事業における新商品開発と販売強化、小売事業における各種サービスの拡充によるお客様満足度の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高277億24百万円（前年同四半期比2.7%増）、営業利益16億85百万円（同9.1%減）、経常利益17億78百万円（同10.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益9億42百万円（同9.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（卸売事業）

住宅市場は、資材価格の高騰や職人不足の影響などから、新設住宅着工戸数は減少傾向で推移しております。4月から12月までの新設持家着工戸数は全国で170,383戸（前年同期比0.9%減）、北海道で6,593戸（同3.5%減）と全国、北海道ともに前年を下回っており、今後も厳しい状況が続くものと予想しております。このような状況のもと、ダクトレス全熱交換換気システム「Air save」などの換気関連商品を中心とした販売強化と適正価格による販売に努めてまいりましたが、基幹システム更改等の経費増加を埋めきれず、売上高82億96百万円（前年同四半期比0.3%増）、営業利益7億31百万円（同1.8%減）となりました。

（小売事業）

ホームセンター業界においては、個人の節約志向は根強く、引き続き同業他社、他業種との競争の激化が続いております。このような状況のもと、お客様満足度の向上と接客力の強化による他店との差別化に努めてまいりましたが、人件費増等による経費増加を埋めきれず、売上高173億7百万円（前年同四半期比2.3%増）、営業利益9億75百万円（同12.5%減）となりました。

（不動産事業）

賃貸資産の適切な管理と効率的な運用を心掛けており、売上高3億93百万円（前年同四半期比23.9%増）、営業利益1億94百万円（同2.8%減）となりました。

（足場レンタル事業）

業務の効率化による生産性の向上と経費削減に努めており、中高層向け次世代足場への取り組みが堅調に推移した結果、売上高6億45百万円（前年同四半期比29.9%増）、営業利益53百万円（同67.5%増）となりました。

（サッシ・ガラス施工事業）

工事現場での設計、監理、施工の基本を徹底することで業務の効率化に努めており、賃貸物件や商業施設の受注が堅調に推移した結果、売上高10億80百万円（前年同四半期比8.4%増）、営業利益1億31百万円（同36.1%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は321億37百万円となり、前連結会計年度末に比べて52億27百万円増加しております。これは主に、売上債権が10億34百万円、棚卸資産が10億52百万円、有形固定資産が30億32百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は133億28百万円となり、前連結会計年度末に比べて44億4百万円増加しております。これは主に、買入債務が13億22百万円、短期借入金が10億38百万円、未払法人税等が1億92百万円、長期借入金が15億72百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は188億8百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億23百万円増加しております。

この結果、自己資本比率は49.7%（前連結会計年度末は57.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2024年5月13日付「2024年3月期 決算短信」において発表しております2025年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,878,297	3,913,025
受取手形、売掛金及び契約資産	1,982,673	2,925,990
電子記録債権	252,961	344,324
商品	4,306,309	5,190,014
販売用不動産	142,097	67,429
仕掛販売用不動産	364,025	596,401
その他の棚卸資産	27,911	38,970
その他	156,156	318,606
貸倒引当金	△1,720	△2,914
流動資産合計	11,108,712	13,391,848
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,283,981	9,448,368
土地	2,972,675	2,984,033
その他（純額）	2,859,811	3,716,111
有形固定資産合計	13,116,467	16,148,513
無形固定資産		
その他	434,865	376,240
無形固定資産合計	434,865	376,240
投資その他の資産		
その他	2,254,811	2,225,552
貸倒引当金	△5,154	△4,858
投資その他の資産合計	2,249,657	2,220,693
固定資産合計	15,800,991	18,745,447
資産合計	26,909,704	32,137,296
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,570,682	2,646,193
電子記録債務	334,253	581,661
短期借入金	2,720,000	3,758,200
未払法人税等	250,867	443,054
賞与引当金	208,945	296,074
その他	1,046,234	1,085,229
流動負債合計	6,130,983	8,810,414
固定負債		
長期借入金	1,160,000	2,732,500
役員退職慰労引当金	29,010	29,010
退職給付に係る負債	339,489	348,956
資産除去債務	425,854	597,764
その他	838,899	809,720
固定負債合計	2,793,253	4,517,951
負債合計	8,924,236	13,328,366

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,427	834,427
利益剰余金	13,288,878	14,023,233
自己株式	△133,042	△133,042
株主資本合計	14,783,612	15,517,967
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	462,961	379,461
土地再評価差額金	81,585	81,585
その他の包括利益累計額合計	544,547	461,047
非支配株主持分	2,657,306	2,829,914
純資産合計	17,985,467	18,808,930
負債純資産合計	26,909,704	32,137,296

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	27,006,090	27,724,155
売上原価	19,039,817	19,438,528
売上総利益	7,966,273	8,285,627
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	2,499,515	2,678,116
賞与引当金繰入額	257,342	293,786
退職給付費用	37,993	39,765
貸倒引当金繰入額	3,426	1,190
その他	3,313,324	3,587,590
販売費及び一般管理費合計	6,111,602	6,600,450
営業利益	1,854,670	1,685,177
営業外収益		
受取利息	195	204
仕入割引	51,845	51,410
その他	88,186	59,551
営業外収益合計	140,227	111,166
営業外費用		
支払利息	8,818	15,442
その他	6,744	2,248
営業外費用合計	15,563	17,691
経常利益	1,979,335	1,778,652
特別利益		
固定資産売却益	1,254	—
受取保険金	1,774	—
特別利益合計	3,028	—
特別損失		
固定資産除売却損	216	126
特別損失合計	216	126
税金等調整前四半期純利益	1,982,147	1,778,525
法人税、住民税及び事業税	762,320	731,007
法人税等調整額	△62,594	△102,381
法人税等合計	699,726	628,625
四半期純利益	1,282,421	1,149,900
非支配株主に帰属する四半期純利益	241,377	207,888
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,041,043	942,012

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
四半期純利益	1,282,421	1,149,900
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68,518	△83,500
その他の包括利益合計	68,518	△83,500
四半期包括利益	1,350,940	1,066,400
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,109,555	858,512
非支配株主に係る四半期包括利益	241,385	207,888

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場 レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	8,268,208	16,925,480	—	496,832	997,463	26,687,985
その他の収益	—	—	318,105	—	—	318,105
外部顧客への売上高	8,268,208	16,925,480	318,105	496,832	997,463	27,006,090
セグメント間の 内部売上高又は振替高	349,646	1,327	27,810	1,225	3,648	383,657
計	8,617,855	16,926,808	345,915	498,057	1,001,111	27,389,748
セグメント利益 又は損失(△)	744,735	1,114,786	199,858	32,009	96,414	2,187,804

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,187,804
セグメント間取引消去	△1,276
全社費用（注）	△331,857
四半期連結損益計算書の営業利益	1,854,670

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場 レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	8,296,333	17,307,313	81,623	645,622	1,080,899	27,411,791
その他の収益	—	—	312,364	—	—	312,364
外部顧客への売上高	8,296,333	17,307,313	393,987	645,622	1,080,899	27,724,155
セグメント間の 内部売上高又は振替高	338,737	1,970	27,810	1,523	2,132	372,173
計	8,635,070	17,309,283	421,797	647,145	1,083,031	28,096,328
セグメント利益 又は損失（△）	731,224	975,956	194,220	53,616	131,249	2,086,268

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	2,086,268
セグメント間取引消去	△4,547
全社費用（注）	△396,544
四半期連結損益計算書の営業利益	1,685,177

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
減価償却費	608,135千円	762,075千円